

じぢけん 黒潮ニュース 第1号

2007（平成19）年12月1日 （社）高知県自治研究センター 黒潮町研究員

集出荷実験がスタートしました！

◆ 湊川・小川地区、馬荷・御坊畑地区で実施

10月2日から湊川・小川地区、11月3日から馬荷地区の集出荷がはじまりました。集荷は各地区とも週2回で、朝6時までに所定の集荷場所へ出しておけば、ビジネスサポーターのTさんがトラックで町内の直販市に持って行ってくれます。

秋は農作物の収穫が少ない時期なので、今のところ出荷量は少なめですが、特にトラブルもなく、順調に始まっています。

◆ （社）自治研センターの実証実験は3月まで

今回の集出荷実験は、地方自治振興のための基礎研究として、期間（来年3月まで）と地域（上記3地区）を限定して行うものです。実験の結果、高齢者の多い中山間地域の集出荷システムが、人々の生きがいづくりや、コミュニティ維持に役立つことが明らかになれば、行政の施策として取り組んでいくよう、関係機関に働きかけていくこととしています。

◆ 何でも売れる！まずは利用してください！

そのために、出荷を予定されている方には、どんどん今回の仕組みを利用していただきたいと思えます。できるだけ多くの方に参加していただき、とにかく“何でも出荷してみる”ことで、皆さんの日常生活にますます「張り」が出てくること、請け合いです。

この機会に、頑張ってください。

私たちが集出荷をお手伝いします！



ビジネスサポーター

●●●●さん・〇〇さんご夫妻

- * 今回の実験をサポートしてくれる、奥湊川のTさんご夫妻です。
- * 営業用ナンバーを取得した自家用軽トラック「こじゃんと号」で集出荷に回っています。
- * Tさんは、ご自分でも出荷されていますので、出荷の手続きなど、アドバイスもしてくれますよ！

★出荷のポイント★



丸いものは、ビニール袋の口をくくる

果物・芋などの丸いものは、袋の口から転がりださないよう、口をくくってください。（大根などの長いものは、袋の口が開いていても大丈夫です。）

生ものは、ビニール袋に“空気穴”をあける

生ものが呼吸できるように、ペンなどどがったもので穴をあけたり、はさみで袋の角を切ったりして空気穴をあけるといいですよ。

買う身になって“ちょっと安め”の値段にする

例えば、2個で100円より、小さめのおまけをつけて3個で100円にするなど、お得感がある、心もち安めの値段にすると、買ってもらいやすいです。

一度にたくさんではなく、数回に分けて出す

同じものを一度にたくさん出荷するよりは、できれば、日分けて出したほうが、売れ残りにくいです。

加工品は長い目で出荷する

お茶などの加工品は、出荷したその日に売れなくても、あきらめず、気長に店に置いてみてください。そのうちに売れているそうですよ。

直販市との契約手続きについて

出荷には直販市との契約が必要です。

お申し込みや、詳しい内容のお問い合わせは、それぞれの直販市へお願いします。

JAにこここ市

こここ市事務局
電話43-1211(代)

【手続きに必要なもの】

- ・年会費 2,000円（2年目からは500円）
 - ・ラベル代（10枚10円）
 - ・伝票（1冊100円）
 - ・「JA」の口座番号
 - ・届出印
- ※JA組合員でない場合は出資金1万円が必要

黒潮ふれあい市

電話43-2205

【手続きに必要なもの】

- ・場所代（1カゴ1,000円）
 - ・ラベル代（1枚2円）
 - ・金融機関口座番号
- ※別途販売手数料が必要

ビオスおおがた

電話43-3113

【手続きに必要なもの】

- ・加入金 5,000円（2年目から年会費1,000円）
 - ・「はたしん入野支店」または「JA」の口座番号
 - ・印かん
- ※別途ラベル代と販売手数料が必要

ご意見・お問合せはこちら

- 黒潮町研究員（畦地・友永・山崎・福岡） 電話43-2111（黒潮町役場内）
- ビジネスサポーター Tさん 電話43-xxxx（自宅）